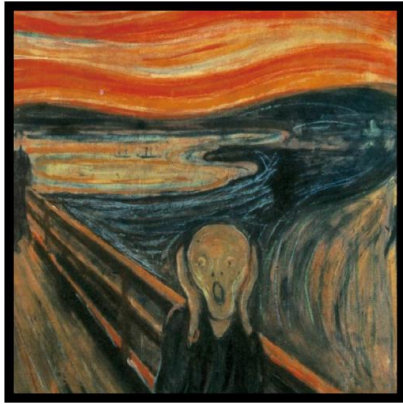


4 歳児／5 歳児クラス < 7 月 ムンク「叫び」 >



やさしいK-ART

テーマ《ムンク「叫び」ワーク》

ムンクが感じた激しいオレンジ色の空を
キットパスで表現しましょう！

< テーマを決める >

「怒ったとき、うれしいとき、悲しいとき、びっくりしたとき、みんなの顔は変わるよね。先生やお友だちの顔を見て、『うれしそう！』『なんだか困っているのかな？』って思うこともあるよね。

ムンクが描いた《叫び》も、大きな口を開けた人がいて題名も「叫び」だから、人が『叫んでいる絵』だと思われることが多いけれど、実は自然の中で感じた驚きや不安な気持ちを表した作品だと言われているんだ。

『この人はどんな気持ちだったんだろう？』

『ぼくだったら、どんな顔になるかな？』

表情や色、線から気持ちを想像しながら、作品づくりに取り組んでみよう。」

< 問いを考える >

- ・ この人はどんな気持ちに見える？
- ・ どうしてそう思ったの？
- ・ 顔のどこを見てそう思った？
- ・ 自分がびっくりしたときはどんな顔？
- ・ もしうれしかったら、この絵はどんな色になるかな？

1. フレーム
2. 空パーツ
3. 橋パーツ（貼ります）
4. 顔パーツ（貼ります）
5. 見本（各テーブル 1 枚程度）
6. 黒画用紙 1 枚
7. キットパス
8. ベビーパウダー
9. スティック糊
10. 鉛筆



< 環境をデザインする >

子どもたちが作品の「気持ち」を表情や色、線から感じ取れるように、ムンク《叫び》の空・橋・顔のパーツを分けて準備した。空の背景は黒画用紙を用いることで、キットパスの鮮やかな色が際立ち、ムンクが描いた夕焼けの迫力や不安な雰囲気表現しやすくした。

顔や橋のパーツを貼り合わせる構成にすることで、細かな描画に時間を取られず、「どんな気持ちに見えるだろう」

「どんな色や線にすると気持ちが伝わるだろう」という対話や表現に集中できる環境を整えたい。

4 歳児クラス < 7 月 ムンク「叫び」 > 実施報告



7/22 年中：8名 《ムンク「叫び」》
今回はムンクの『叫び』の見本を見ながら制作を行いました。作品を見ると「うわッ!」「こわいよ～」と絵の雰囲気を感じ取っていました。空の方を指差し、「これってなんだろう?」の問いに「夕日みた～い」としっかり反応してくれました。「この絵はムンクが驚いたり、不安だなという気持ちで描いたかもしれない」と話をすると作品に興味を持って耳を傾ける姿が見られました。また、「同じ景色を見ても、人によって見え方や感じ方はそれぞれ違うんだよ」ということも伝え、一つの作品にもさまざまな捉え方があることに触れました。制作では空と海を分ける線を引く前に、見本の紙で空の線を指でなぞって「本当に空がぐにゃ～んってなってる!」と空がうねっているのを確認。色を塗っていく時に見本を観察して「オレンジ色に見えるなあ～」「次は赤かな?」「緑色もある!」など、それぞれが感じ取った色を選んで塗り、指でキットパスを伸ばしながら空や海を表現していきました。水面も描きました。顔を描く場面では、見本の表情を見て「叫び」の特徴を捉えて描くことができました。糊で顔を貼り付け、フレームに入れると一気に雰囲気が出て、嬉しそうな笑顔も見れました。キットパスのお片付けも積極的に参加してくれて、最後にみんなで見比べながら写真を撮って終わりました。

5歳児クラス < 7月 ムンク「叫び」 > 実施報告



7/22 年長：11名 《ムンク「叫び」》

今回は、ムンクの『叫び』の見本を見ながら制作を行いました。

作品を見た子供たちからは「見たことない」「こわいなあ」など絵の不思議な雰囲気を感じ取っている様子や、絵を見た瞬間に絵の表情を真似している子もいました。

「この絵はムンクが驚いたり、不安だなという気持ちで描いたかもしれない」と話をすると、作品に興味を持って耳を傾ける姿が見られました。

また、「同じ景色を見ても、人によって見え方や感じ方はそれぞれ違うんだよ」ということも伝え、ひとつの作品にもさまざまな捉え方があることに触れました。

制作では、空と海を分ける線をしっかりと描け、色塗りへ。見本を観察しながら「黄色っぽいね」「ここは赤だな」「白も使いたいから白いキットパスください！」と自分が感じた色をすごくこだわって、そしてシーンとするくらい集中して色を塗っている様子が見られました。顔を描く場面では、「叫び」の特徴を捉えて描くことができました。自分が描いた顔が面白くて笑っている子も。パーツを貼ってフレームに入れ完成した作品を見てとっても嬉しそう。最後はみんなの作品を並べて、友だちとの違いに気づいて話し合っていました。

